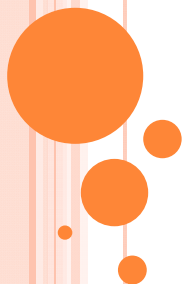


小学校特別活動部会



徳島県教育委員会

学習指導要領の改訂より

○新しい学習指導要領の考え方

どのように学ぶか

ー主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善）ー

小・中学校においては、これまでと全く異なる指導方法を導入しなければならないと浮き足立つ必要はなく、これまでの教育実践の蓄積を若手教員にもしっかり引き継ぎつつ、授業を工夫・改善する必要がある。

特別活動における視点 (道徳との関係)

人間関係形成

主として他の人との関わりに関すること

社会参画

主として集団や社会との関わりに関すること



自己実現

主として自分自身に関すること

特別活動改訂の要点

○「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」という三つの視点を手掛かりとしながら、資質・能力の三つの柱に沿って目標を整理した。

○学級活動に「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」を設け、キャリア教育の視点からの小・中・高等学校のつながりが明確になるようにした。

○中学校において、小学校の経験を生かして取り組むよう(1)の内容を重視する視点から、(2)(3)の項目を整理した。

特別活動の目標

特別活動	<p>集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり、資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び、人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>
------	--

特別活動の目標

学級活動	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
児童会活動	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
クラブ活動	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
学校行事	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

学級活動の内容

1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるように指導する。

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

ア学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

イ学級内の組織づくりや役割の自覚

学級生活の充実や向上のため、児童が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、話し合い実践すること。

ウ学校における多様な集団の生活の向上

児童会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合っ決めていくこと。

学級活動の内容

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア基本的な生活習慣の形成

身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。

イよりよい人間関係の形成

学級や学校生活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり信頼し合ったりして生活すること。

ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

エ食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

給食の時間を中心としながら、健康によい食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。

学級活動の内容

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望をもって生きる意欲や態度の形成

学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする事。

イ 社会参画の醸成や働くことの意義の理解

清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要なことについて主体的に考えて行動すること。

ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館の活用

学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現のつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。

学級活動(1)で学ぶこと

- 話し合いの進め方
- よりよい合意形成の図り方

↓
集団討議による合意形成

多様な他者とよりよい人間関係を形成し、協働して日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

学級活動(1)の充実を

- 従来から大切にしてきたこと
- 中学校でも大切にしてほしいこと
- ・ 特別活動における自発的、自治的な活動の中心となる内容である。
- ・ 合意形成を図っていくための手順や方法を身に付ける。
 - ・ 安易な多数決をとらない。
 - ・ 折り合いを付ける。
 - ・ 少数意見を大切にする。

学級活動(2)(3)の進め方

↓
集団思考を生かした
個々の意思決定

- ★ 教師が題材を設定する。
- ★ 問題意識を高める。
- ★ 自分の目標を決め、実践化できる。

児童会活動の内容

1の資質・能力を育成するため、学校の全児童をもって組織する児童会において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

(1)児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営

児童が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。

(2)異年齢集団による交流

児童が計画や運営を行う集会等の活動において、学年や学級が異なる児童と共に楽しく触れ合い、交流を図ること。

(3)学校行事への協力

学校行事の特質に応じて、児童会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に協力したりすること。

クラブ活動の内容

1の資質・能力を育成するため、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

(1)クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営
児童が活動計画を立て、役割を分担し、協力して運営に当たること。

(2)クラブを楽しむ活動

異なる学年の児童と協力し、創意工夫を生かしながら共通の興味・関心を追求すること。

(3)クラブの成果の発表

活動の成果について、クラブの成員の発意・発想を生かし、協力して全校の児童や地域の人々に発表すること。

学校行事の内容

1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、全校又は学年を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

(1)儀式的行事

(2)文化的行事

(3)健康安全・体育的行事

(4)遠足・集団宿泊的行事

(5)勤労生産・奉仕的行事

特別活動における「主体的な学び」

「主体的な学び」の実現とは、学ぶことに興味・関心をもち、学校生活に起因する諸課題の改善・解決やキャリア形成の方向性と自己との関連を明確にししながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の活動を振り返りながら改善・解消に励むなど、活動の意義を理解した取組である。

特別活動においては、学級や学校における集団活動を通して、生活上の諸課題を見いだし解決できるようにすることが大切である。

特別活動における「対話的な学び」

「対話的な学び」の実現とは、児童相互の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方や資料等を手掛かりに考えたり話し合ったりすることを通して、自己の考え方を協働的に広げ深めていくことである。

特別活動は多様な他者との様々な集団活動を行うことを基本とし、そこでの「話し合い」を全ての活動の中心に置いている。特に、学級活動や児童会活動、クラブ活動の自発的、自治的な活動においては、学級や学校における集団や自己の生活上の課題を見だし、解決するために合意形成を図ったり、意思決定したりする中で、話し合いを通して他者の様々な意見に触れ、自分の考えを広げたり、課題について多面的・多角的に考えたりすることが重要である。

特別活動における「深い学び」

「深い学び」の実現とは、学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、新たな課題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることで、学んだことを深めることである。

…(中略)…

そのためには、それぞれの学習過程において、どのような資質・能力を育もうとするのかを明確にした上で、意図的・計画的に指導に当たることが、「深い学び」の実現につながるのである。

【キーワード 『感動』 『繰り返し』】

年間計画が拠り所

・特別活動における授業改善のため
(深い学びを目指して)

・全5種類 全体計画
学級活動
児童会活動
クラブ活動
学校行事

全体計画

- 学校教育目標
- 特別活動の重点目標
- 各教科、道徳科(道徳科の内容項目や道徳科の重点)、外国語活動及び総合的な学習の時間などとの関連(教育課程外の活動等との関連を含む)
- 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の目標と指導の方針
- 特別活動に充てる授業時数等
- 特別活動を推進する校内組織
- 評価 など

学級活動年間計画

- 学校や学年, 学級の指導目標
- 育成を目指す資質・能力
- 指導内容(予想される議題例, 題材名)と時期
- 指導の時間配当
- 特別活動の他の内容との関連
- 他教科等との関連
- 評価の観点

児童会活動年間計画

- 学校における児童会活動の目標
- 児童会活動の実態と指導方針
- 代表委員会, 各委員会の組織と構成
- 活動時間の設定
- 年間に予想される主な活動
- 活動に必要な備品, 消耗品
- 活動場所
- 指導上の留意点
- 委員会を指導する教師の指導体制
- 評価の観点や方法

クラブ活動年間計画

- 学校におけるクラブ活動の児童の目標
- クラブ活動の実態と指導の方針
- クラブの組織づくりと構成
- 活動時間の設定
- 年間に予想される主な活動
- 活動に必要な備品, 消耗品
- 活動場所
- 指導上の留意点
- クラブを指導する教師の指導体制
- 評価の観点と方法など

学校行事年間計画

- 各行事のねらいと育成する資質・能力
- 五つの種類ごとの各行事を実施する時期と内容及び授業時数
- 学級活動や児童会活動, クラブ活動, 各教科等との関連
- 評価の観点など

特別活動主任の役割として

- これから半年で見直しを加えて、次年度から使える年間計画を作成する。
- それぞれの担当や各学級担任と連携をとり、協力して全員で作成するよう心掛ける。
- 自分で全部抱え込まず、コーディネートするつもりで進める。